

参加レポート F.テクノ伊藤様 kintone Hive に登壇

昨年、コムデックの生田専務も登壇した kintone hive。なんと今年は、コムデックのお客様である「F.テクノ」様が登壇！コムデック社員も出張して、その雄姿を目に焼き付けて参りましたのでレポートいたします！

「案件の把握にこだわって全てを捧げた18か月」と題しスタートした講演は、まずかつの F テクノ様の案件管理の方法を紹介。各個人の記憶と手帳に頼っていた案件管理では抜けや漏れも発生しがちになり、従業員同士の情報共有はほとんどされていなかったと言います。

そこで社内システムの導入に踏み切りますが、最初は某セールス……さんと kintone で迷われたとのこと。どっちもよくわからないから、それなら安い方で一年やってみよう！と乗り出したのが kintone での案件管理でした。しかし、最初は他の社員さんがなかなか kintone での管理に移行してくれなかったとのこと。そこで伊藤さんは、「絶対に必要な業務」を kintone でやってもらうこと



で徐々に完全移行を果たし、今では原価管理や売上管理まで kintone でできるようになったというのですから、成長がめざましいですね！

kintone の良いところは「自分でできない設計は社外にお願いできる」ことだと言う伊藤さん。そこもまたコムデックの存在意義ですが、我々が力を発揮できるのも、我々と同等かそれ以上に熱い思いをもって社内改革に取り組む従業員さんがいてこそです。

さて、案件管理を固めた F テクノ様の次なるステップは「より効率的に仕事をする事」！コムデックでもお手伝いをさせていただきながら、より生産性の高いお仕事のために、日々研鑽を重ねる F テクノ伊藤さんでした！

kintone hive とは？

日々の業務で kintone を活用しているユーザーが一堂に会し、業務改善プロジェクトの成功の秘訣を共有するリアルイベント



Imadoki サービス ” Internet Explorer 11 ” から卒業しましょう !!

Windows7 のサポート終了を受けて、1,000 台を超える Windows10 搭載パソコンへの切り替え作業がようやく終わろうとしています (まだ数十台残ってます)。

納品の際に驚いたのが、今から7年前にリリースされた” Internet Explorer 11 ” をお使いのお客様があまりに多いことです。過去の Imadoki でもご案内いたしましたが、オンラインバンキングや電子入札など” Internet Explorer 11 ” 上でしか動作しない場合を除いて、弊社では” Internet Explorer 11 ” のご利用をお勧めしておりません。インターネット閲覧のトラブル相談は” Internet Explorer 11 ” が圧倒的に多く、性能やセキュリティ対策が現在のインターネット利用には不十分であることが原因となっています。

是非とも安全、高速動作の ” Microsoft Edge (エッジ) ” または ” Google Chrome (クローム) ” をお使いください、あまりの快適さに驚きますよ !!
コムデック社内では、” Google Chrome ” ユーザーが主流で、スマートフォンのブラウザと統一することで、ブックマーク (お気に入り) を共有して便利に使っているメンバーが多くいます。

そして今まで Windows10 標準搭載であり、Internet Explorer 11 の後継でありながら、イマイチ不評で全く使われていなかった” Edge ” が、アイコンだけでなく中身も新しく生まれ変わって再登場いたしました。新生 Edge は、Google Chrome などの各種ブラウザと同じ Chromium エンジンベースとしており、既に世界的に Windows Update を通じて配信され始めています。日本においては、確定申告の「e-TAX」への影響を考慮し、新しい Microsoft Edge の配信は令和2年4月1日以降、順次開始される予定とアナウンスされております。



事実上サポートが終わっているため機能向上もなく、セキュリティ面で不安もある” Internet Explorer 11 ” から、” Edge ” または ” Google Chrome ” への移行をコムデックでは強く推奨させていただきます。



株式会社コムデック

〒516-0007 三重県伊勢市小木町 484-1
TEL 0596-31-1100 HP www.comdec.jp



要回覧

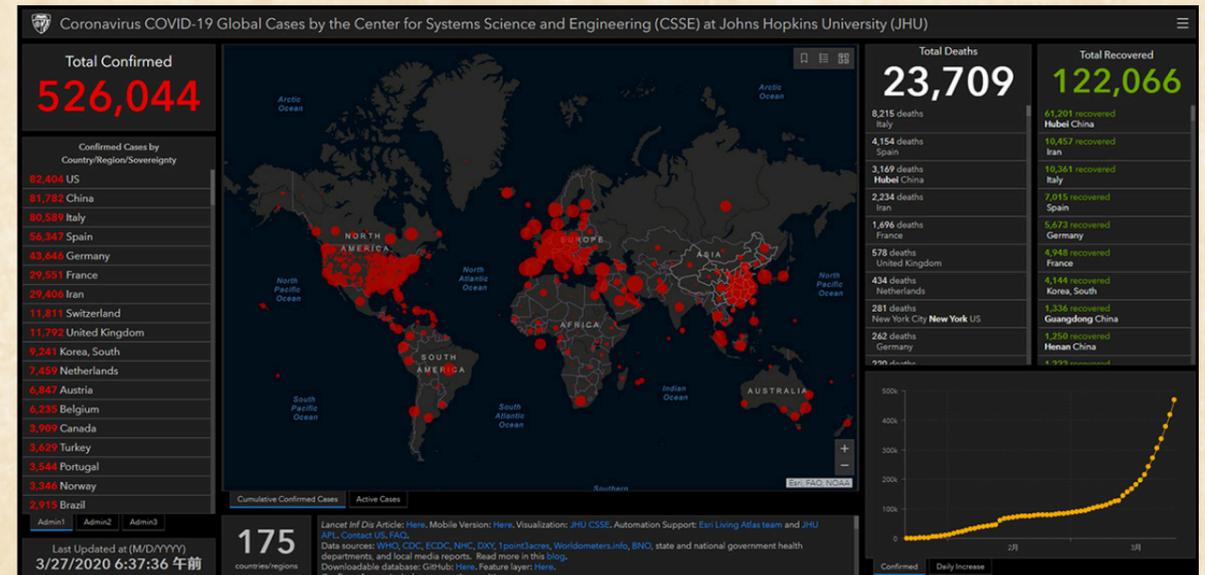
確認印					
-----	--	--	--	--	--



Imadoki

2020 April 04

vol.60



新型コロナウイルスで世界中が大混乱、本気のオンライン社会到来へ

世界各国で約 50 万人が感染し、1 万 6 千人以上の方が亡くなるなど新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっています。学校の休止、イベントの自粛、大相撲やプロ野球オープン戦は無観客、春の選抜甲子園は中止、そして遂にはオリンピックの延期が決定しました。多くの企業では不要不急の出張が禁止となり、過去にない規模でリモートワークが実施され、新幹線、近鉄特急がガラガラの空席だらけと経験したことの無い驚きの日々が続いています。

マスクはもちろん、トイレットペーパーやティッシュペーパーまで品薄になり、今回のコロナウイルスが生活に与えている物理面、心理面での影響の大きさに驚くばかりです。しかしその一方で、学校の授業や企業の会議、打ち合わせをオンラインで行う動きが急速に増えるなど、新しい時代の動きも見えてきました。弊社でも、遠方のお客様との打ち合わせには Web 会議ツール「Zoom」、社内では「Microsoft Teams」を使用する機会が一気に増えました。

Imadoki では様々なクラウドサービスを紹介し、実際にお客様に導入させていただいておりますが、その根底には私と生田専務二人の 2011.3.11「東日本大震災」体験 (当時二人でお台場ビックサイトに居たのです ...) からくる BCP 対策、危機管理の重要性認識がございます。伊勢市においても最近だけで 2017 年の洪水、2018 年の台風による長時間停電、そして今回のコロナウイルスによる移動制限等々、企業における様々な危機は常に起きるものであると想定し、気を緩めないように注意しています。

いなる事態においても経営者には従業員に給与を支払い、事業継続し、お客様へのサービス提供を継続できるよう務める義務があると思われ、今後も COMDEC は様々な取組と改善を継続してまいります。

代表取締役社長 樋口 雅寿



zoom



Microsoft Teams

コロナウイルスの影響により、リモートワーク、テレワークに在宅ワークと言葉の定義がイマイチ判りませんが、会社以外の場所でも仕事ができる環境、取引先と遠隔会議 (Web 会議) ができる働き方と環境・能力が過去にない規模 (会社数 / 人数) で求められる事態となっています。

今回の事態に大慌てで Web 会議対応機材を購入している会社も多く、弊社が普段取引を行っている IT 商社や Amazon を見ても、モバイル PC や Web 会議用の機材 (Web カメラやヘッドセット) の在庫が払底している状態です。しかしご安心ください、少人数の「Web 会議」程度ならノートパソコンに備わっている、カメラ / マイク / スピーカーで対応可能です、更に 2,000 円位のヘッドセットを使えばより快適に Web 会議が実現できます。

そして在庫の概念とは無縁のクラウドサービスは、無料の「LINE」のビデオ通話をはじめ、Web 会議に非常に強い Zoom、Skype、LINEWORKS、FaceBook Messenger、Slack、Chatwork..... などなどチャットツールには大抵 Web 会議機能が含まれていますので、導入は容易に行えます。

まさに百花繚乱・群雄割拠のチャット & Web 会議ツール、今回の特集ではコロナウイルスで一気に注目が集まった「Web 会議」に強いチャットツールである「Zoom」と、これから最もシェアを獲得すると注目される Microsoft「Teams」をご紹介します。



Zoom ミーティング ※無償版でも業務で十分使えます！

「Zoom」は、PC、スマートフォン、タブレットを使って、いつでも、どこからでも、ワンクリックでビデオ会議を開催することができ、リモートワークでも会社の会議室にいるような効率性や臨場感を実現する Web 会議 No.1 サービスです。

複雑な設定は不要で、主催者から発行された URL をクリックするだけで会議に参加できるので、参加者側のわずらわしさが解消されており、回線状況が不安定な外出先などのネットワーク環境でも、途切れにくく非常に安定していることが最大の長です。

Web 会議ツール「Zoom」利用の流れ

Zoom はテレビ会議のように、ビデオと音声を使ったミーティングを行うことができるツールです。Zoom の利用にあたって、お客さまはアカウント発行不要で Web 会議を行うことができます。

<イメージ図>



上図は、「Zoom」の利用イメージ図となりますが、とにかく参加する側初めてで簡単に設定が完了し Web 会議が開始できます。

Web 会議開始までの準備の流れ

1. 弊社から Web 会議への招待リンクをお送りします。
2. お時間が近づきましたら、リンクをクリック。
3. Zoom アプリをダウンロードしてください。
4. 圧縮ファイルをダウンロード・実行してください。
5. Zoom ミーティング画面が表示されます。
6. 音声・映像の設定を行います。
7. お打ち合わせの開始。

実際に「Zoom」を使用している様子



「無償版 Zoom」を利用して名古屋のお客様と勤怠管理クラウド「KingofTime」導入打ち合わせの様子です。コロナウイルス対策として訪問人数を減らすため、リアルに訪問する社員と会社から Web 会議で支援する社員のミックス体制で訪問しています。

ミニコラム

リモートワークを始めようと思っても、未経験の企業はなかなかハードルが高いのも事実です。そんな方々に朗報です！テレワークの始め方、注意事項についてまとめた教科書的なガイドが PC メーカー「Lenovo」から無償で提供されていますので是非ご利用ください。



始めよう！
テレワークスタートガイド
(▼ダウンロードサイト QR コード)



Microsoft Teams

チームス

※新型コロナで1週間で1200万ユーザー増!!

昨年から勝手にインストールされ Windows 起動時に立ち上がってくる「Teams (チームス)」、実は優れたサービスで世界中で利用熱が高まっています。

マイクロソフトの公式サイトでは、「チームワークを実現するためのハブ」という表現をしており、簡単に紹介するとチャットツールと「Skype for Business」が合体したサービスです。Office365BusinessPremium でフル機能が利用可能であり、弊社でも IT サポート部が利用しています。

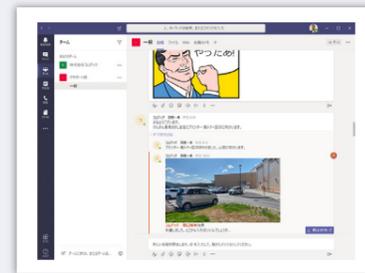
IT サポート部では実際に「Web 会議」や「1on1 ミーティング」まで「Teams (チームス)」で行っていますが、Zoom にも勝るとも劣らぬ安定した映像、音声で快適に利用可能です！

※Teams の登場により SKYPE for Business はサービス終了となっています。

「Teams (チームス)」の名のごとく社内の連絡である「チャット」+「音声通話」+「VIDEO 通話」+「Web 会議」の統合ツールとして優れたサービスですが、Web 会議中心の Zoom のように 1Click で不特定多数の外部の方を Web 会議に招待するには向いていません。

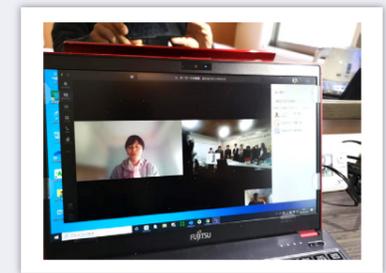
主に Office365 を使っている社内同士、あるいはグループ会社を含めたチーム向けのサービスとなりますが、Skype 譲りの安定感とは異なり、Web 会議で最も避けたい「音声の途切れ」や「映像の乱れ」はありません。流石新時代のコミュニケーションツール。

これから利用者が増えて Word・Excel のように当たり前に使われるツールになる日が来そうな「Teams」、ご紹介は今回が初めてとなりますが、今後も目が離せないサービスとしてご記憶ください。



実際の利用画面

チャットに限れば「LINEWORKS」が圧倒的に使いやすいです。しかし音声や VIDEO 通話、Web 会議を簡単にチームで行えるので「Teams」も侮れません！



新年の挨拶を「Teams」使って 宿泊ホテルからリモート開催。

私と濱口君は初日から東京へ納品出張で不在にしており、リモート参加となりましたがスムーズに朝礼できました。



経営者様向け情報 IT活用戦略セミナー 2020」は予定通り開催いたします (現時点では...)

コロナウイルス感染対策の影響により早い時点での開催判断は控えておりましたが、3/19 の政府専門家会議の結果を踏まえ、弊社方針として現時点では、IT 活用戦略セミナー 2020 は、予定通り 6月 16日、17日の両日開催予定と致します。

もちろん開催直前であっても、県内にて感染者増加の傾向がみられるなど参加者の皆様にご迷惑をおかけするような事態が生じる可能性が高まった場合は即時中止判断をいたしますが、県内を中心とした特定の方々向け開催ということもあり慎重にコロナウイルス対策を行ったうえで開催を行う予定でございます。会場となる「三重県営サンアリーナ」様も対策を進められておられ、「密閉・密集・密接」の感染3要件を排除したうえで、主催者判断で開催は可能とのことです。

正直申しますと、開催判断には相当の葛藤がございます、中止は実に簡単な判断なのですが、国内、県内、そして地元伊勢の不活発な経済活動を見ていると事業者として単純に自粛・中止判断だけが正しいのか、「皆さんが元気になるようなセミナーを開催したい」、そんな想いと自問自答を続け悩みながらの仮決定となります。

6月にはコロナウイルス騒動も落ち着き、マスクも普通に手に入るようになっていくといいのですが...まずは開催決定の判断から始めますのでご期待ください！



● DAY 1 基調講演講師紹介



船井総合研究所
デジタルイノベーションラボ部長
伊藤 芳彦 様

IT 活用戦略セミナーに唯一連続登壇していただいていた長島チーフコンサルタントが、3月末をもって船井総合研究所を退職されることになりました。ピンチヒッターとして、長島コンサルタントの上司であり、船井総合研究所にて IT の第一人者として我々も所属する「IT ビジネス研究会」を立ち上げたデジタルイノベーションラボ部長「斎藤 芳彦」様にご担当いただきます。